

2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
ProTools3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	吉田 光宏			実務 経験	有	職種	ミュージッククリエイター/AVID認定トレーナー				
担当教員紹介											
作曲家/アレンジャーとして数多くの音楽制作に関わり、Avid認定プロツールストレーナーとして従事。 Avid認定の最上位資格である310Mを取得している。											
授業概要											
ProToolsの上位バージョンのProToolsHD。このソフトウェアの基本的な操作と、概念をマスターし、音楽関連の現場でエンジニアとして働く者として常識となる技術を習得する。ProToolsHDは特にプロ用のレコーディングテクニックへの対応が強化されており新しいサウンド作成としてもかかせない物であり、コンピュータを楽器として、レコーダーとして使用するため、アニメーションをはじめとする映像分野との連動も高くなっている。ProToolsを通じてレコーディングエンジニア、MAエンジニア、ラジオスタッフのあらゆる場面で活躍できることを目的とする。											
到達目標											
ProTools201の認定合格を目指す。この資格はPro Tools の設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である。日本のみならず世界中のプロダクション等にPRできる強みがある。Pro Toolsの高い専門性を生かし、音楽、映像、放送など幅広い録音現場におけるエンジニアとして活躍できる機械を増やすためにも資格を取得する。資格試験の実施には日本国内では本校のような学校が環境、講師ともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに認定される必要がある。その貴重な機会を活かす。											
授業方法											
Avid・ProTools全般の操作と様々な用語と操作方法を理解する。一見、難解な専門用語も多くあるため、経験ある講師によって具体的な操作を用いながら解説される。講義教室での解説にはProToolsの画面を表示しながら、実際に現場で使われた音素材を参考にどのように変化していくか、聞きながら学ぶことになる。音で聞きながら目でも確認することを心がけて参加する。											
成績評価方法											
レポート 平常点	80% 20%	授業内容の理解度を確保するために実施する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
Avid認定のProTools201テキストを使用する											
回数	授業計画										
第1回	Avid201でマスターするべきショートカットの概要										
第2回	クロックについての理解、設定とトラブルの対処										
第3回	i/o設定について。編集範囲選択とタイムライン選択の理解・スクロールについて										
第4回	タイムラインと編集位置のリンクポイント・□3つの保存方法の機能										
第5回	ワークスペースプリッガーの□□□□管理やサウンドライブラリーの使用										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
ProTools3	
第6回	メモリーロケーションの保存とリコール
第7回	編集モードと編集ツールの拡張機能
第8回	編集モードと編集ツールの拡張機能の使用用途
第9回	トラックグループとVCAマスタートラックについて
第10回	オートメーションのアドバンス機能・オートメーションを高度に使うPart1
第11回	オートメーションのアドバンス機能・オートメーションを高度に使うPart2
第12回	クリップゲイン機能、クリップゲインインフォとクリップゲインラインについて
第13回	サイドチェーン キーインプット機能・ストリップサイレンス機能
第14回	トラック複製機能・バウンス、コミット、フリーズ機能について
第15回	トラックプリセット機能について